

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1354
施設名	平河町ちとせ保育園
施設所在地	千代田区平河町2-10-3
法人名	社会福祉法人 ちとせ交友会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

・光（2歳児）

<テーマの設定理由>

・窓に貼っていたカラーセロハンに太陽の光が当たり、床に色とりどりの影が映った事をきっかけに「ひかり」をテーマとした探究活動が始まった。

## 2. 活動スケジュール

- ・7月: 大型電子黒板を使って保護者に光の探究活動についての話をした。
- ・7月: カラーセロハンの製作
- ・8月: ライトテーブルを使ってみる
- ・1月: 影あそび
- ・2月: 影あそび（懐中電灯を使って）

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ライトテーブル
- ・ピタゴラスプレート・ウォーターブロック
- ・懐中電灯
- ・カラーセロハン・コップ（プラスチック）
- ・色マジック

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・ カラーセロハン製作（自分で色を選び、貼り方を工夫しながら取り組む）
- ・ ライトテーブルを使用（光から色の変化の気づきを楽しむ）
- ・ 影あそび（ライトテーブルを使って、好きな玩具を使い影の変化を楽しむ）
- ・ 影あそび（プラスチックのコップに色を塗り、懐中電灯を使って色の変化を楽しむ）

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・ 床に映る色の影を見つけると「あか！」「ハートあったよ」と嬉しそうに声をあげる姿が見られた。友だちと並んで同じ影を見たり、互いの足元を見せ合ったりしながら発見を楽しむ姿が見られた。保育者は「何で色ができたのかな？」と問いかけ、一緒に不思議さを感じながら関わった。

・ 上記の発見から、自分たちでも作ってみたいという声子どもたちから出て、カラーセロハンを使い、色を選んだり、切り方の工夫をする姿が見られ、完成後は窓に貼って変化を確かめたり、繰り返し試す姿が見られた。また、友だちの作品を見て「きれいだね」と共感する姿も見られた。

・ コップの中に懐中電灯を入れて色の変化を楽しむ姿が見られた。

・ 保育者は「色が変わったね」「どこに当てるときれいかな？」「天井にも映るかな？」などの声かけを行い、子どもたちの気づきを共有した。

・ 自然光⇒ライトテーブル⇒懐中電灯⇒色の素材⇒自分で作った色と、子どもの興味に合わせて発展してきた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 日常の中の偶然の出来事が、子どもたちの探究へと大きく広がることを改めて感じた。
- ・ すぐに答えを伝えるのではなく、問いかけたり、一緒に不思議がる姿勢で関わる事で、子どもたちの主体性や試行錯誤する姿がより引き出される事に気づいた。
- ・ 今後も子どもたちの「不思議だな」「どうなるのかな」という気持ちを大切にしながら、光や色への興味を広げていきたい。